

令和6年度

令和6年1月21日実施

入学試験問題

(看護学科3年課程)

国語総合

◎指示があるまで開いてはいけません

注 意

1 解答用紙には、氏名・受験番号・志望校名が印刷されているので、あなたの解答用紙かどうかを確認すること。

なお、氏名欄、志望校名欄には、氏名、志望校名を漢字で正確に記入すること。

2 この問題は、表紙を除いて1ページから16ページまでであるので確かめること。

3 試験の時間は、9時00分から9時45分までの45分とする。

4 解答には、HB又はBの鉛筆（シャープペンシルも可）を使うこと。

5 問題は、5肢択一式により出題されている。解答方法は、次のとおりとする。

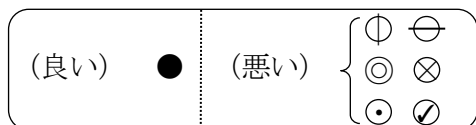
(1) 5肢択一式問題の正解は、各問題とも1つである。解答用紙の所定のマーク欄に、正解の番号を1つだけマークすること。2つ以上マークされている場合は無得点とする。

(2) 解答用紙の〔記入上の注意〕をよく読んでマークすること。

例 〔問1〕日本の首都は次のうちのどれか。

① 京都 ② 福岡 ③ 東京 ④ 大阪 ⑤ 神戸

正解は「③ 東京」であるから解答用紙のその問題番号の次にならんでいるマーク欄 ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を鉛筆で ● のようにマークして ① ② ● ④ ⑤ とすればよい。



(良い) のようにマークする。
(悪い) のようだと機械で読み取れないことがある。

既にマークした解答を消す場合は、プラスチック消しゴムでよく消すこと。

国語総合

一 次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

環境 (Environment) の語源には「周辺」という意味がありますが、日本語には環境の他にも人間と自然の関係をとらえるときに用いられる表現があります。それは「風土」です。風土の定義に関する議論は色々ありますが、以下のように考えたいと思います。

A

こうした自然と人間の関係性を絵にしたものが、図の左側のイメージです。

その上で、風土は「私たち」という主語で用いられるという特徴があると考えています。なぜならあるひとつの風土は、その風土が形成される地域に暮らす・関わりのある人々の間で共有され、語られるものだからです。風土は個人が認知できますが、個人が単独で形成することはできません。風土は常にある地域に暮らす・関わりのある人たち（＝私たち）を主語として語られます。例えば、「この町では〜」、「この地域では〜」、「うちらは〜」というような表現がこれにあたります。

このように、風土は「私たち」という主語をトモナつて、人間と自然とのあいだのひとまとまりの関係性を表しています。このことは同時に、個々の土地ごとに異なる風土があることを意味します。つまり、地域Aに暮らす私たちにとつての風土と、地域Bに暮らすあなたたち（地域Aのそれとは別の私たち）にとつての風土は異なるということです。

異なる風土を語るいくつもの「私たち」があることを認めることで、多元的な世界観を受け入れることができます。「環境―人間」というような、二項対立的な世界観における客観的対象としての「環境」では、全地球・全種的に共有しているひとつの環境があるということが前提になっていますが、複数の異なる「私たち」をはじめから内化している風土は多元的な世界を前提にしているのです。

風土では自然と人間が不可分なひとまとまりの関係としてありますから、この風土の視点においてサステイナビリティを^(注1)考え行動する（＝「何をまもり、つくり、つなげていきたいのか」を^(注2)考え行動する）ことが、ひいては自然をつくることになり、そうして

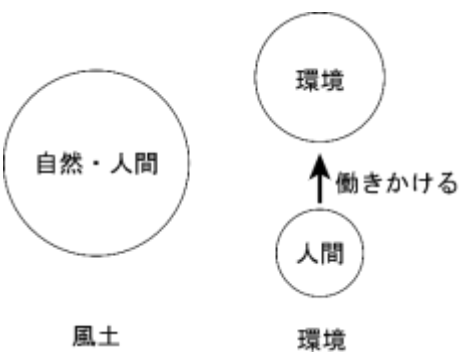


図 環境と人間の関係性

また、つくった自然に人間がつくられる関係へ展開していくことと同義になります。このことを従来の「環境のサステイナビリティ」に対し、「風土のサステイナビリティ」と呼びたいと思います。

気候変動や地球温暖化に代表されるこれまでの環境問題の議論では、その影響範囲が全地球であることから、環境のサステイナビリティが重要視されてきました。この視点を用いることで、地球環境の状態を俯瞰的に把握することはできるようになりました。しかし、実際に課題に向き合う段階において、行動主体となる主語は見失われてきました。

環境のサステイナビリティの視点によって観察・分析・介入を検討した情報は、状況に対する対処療法的な視点を与えてくれます。このような視点を片方に持ちながら、「私たち」という主語を用いてより実際の体験としての自然と人間の関係性についての情報を与えてくれる、風土のサステイナビリティの視点を補うと、今度は思考を展開している私を環境のなかに内化した視点から、日々をどのように暮らしていけばよいのかを考えることができるようになるのではないのでしょうか。

一方で、風土の視点にも限界があります。それは、その範疇を「地球」や「グローバル」というマクロ視点にまで引き上げると、風土の視点からサステイナビリティを語るときの「私たち」という主語に対する意識がとても弱くなってしまふ、あるいは消えてしまうことです。全地球的な風土というものが仮に想像できたとしても、その規模において風土の特徴である「自然が人間をつくり、自然は人間につくられる」という相互に定義し合う関係が、規模が大きすぎて私たちには認知することがとても難しくなります。少なくとも私自身は「地球の風土」というような表現に手触り感を感じられないのですが、このあたりについてそうした認識も可能だとする議論もあります。

気候変動や地球温暖化のようなグローバルな環境問題や、SDGsのような全人類の開発目標という枠組みにおいては、自然と人間がお互いに定義し合うこと（注2）逆限定の関係）が認知できないがゆえに、どこか他人事（ほ）（ひ）と（じ）のような感覚が生じるように思います。他方で、ある地域や町といった程度の規模であれば、明日からの私の行動の変化がどのように自然と人間のつくり・つくられる関係のなかでの変化として現れるかをヨウイ（ヨ）（ウ）（イ）に想像することができましょう。「私たち」という感覚が成り立つ風土という視点をジュウソク（ジュ）（ウ）（ソ）（ク）していくことで、環境問題に対しても主体性を持つことができるようになるのではないのでしょうか。

（工藤尚悟『私たちのサステイナビリティ』より）

（作問の都合上、一部の表記と本文中の注を削除しました。）

(注1) サステイナビリティ——環境・社会・経済などが将来にわたって適切に維持・保全され、発展できること。持続可能性。

(注2) SDGs——世界が二〇三〇年までに達成すべき十七の環境や開発に関する国際目標。持続可能な開発目標。

〔問1〕 空欄 A には次のⅠ～Ⅳの文が入るが、順番どおりに並べ替えたものとして最も適切なものは、次のうちのどれか。

- Ⅰ こうした相互に定義し合う関係性を「逆限定の関係」と表現したいと思いません。
- Ⅱ 「風」は文化・民俗を、「土」は土地・地域を表し、これらは互いに独立してあるのではなく、ひとつのまとまりとして不可分に存在する。
- Ⅲ 風土の視点において自然と人間は、自然が人間をつくり、また同時に自然は人間につくられる、という相互に定義し合う関係にある。
- Ⅳ 風土は、自然と人間のあいだにあるひとまとまりの関係のこと。

- ① Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ→Ⅳ
- ② Ⅲ→Ⅰ→Ⅳ→Ⅱ
- ③ Ⅳ→Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
- ④ Ⅳ→Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ
- ⑤ Ⅳ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ

〔問2〕 トモナ^a、ヨウイ^b、ジュウソク^cの傍線部に該当する漢字を含む熟語の組み合わせとして正しいものは、次のうちのどれか。

- ① a ギターのバン奏で歌う。 b 明治イ新について学ぶ。 c 研究にジュウ事する。
- ② a 湖ハンでキャンプをする。 b 平イな文章を書く。 c 目がジュウ血する。
- ③ a 希望者に無料でハン布する。 b 難イ度が高い問題を解く。 c 苦ジュウの判断をする。
- ④ a 御相バンにあずかる。 b 簡イ裁判所に出向く。 c ポイントを支払いにジュウ当する。
- ⑤ a 手続きがハン雑である。 b 驚イ的な回復力を見せる。 c ジュウ前どおりの方法で行う。

〔問3〕^① 多元的な世界とあるが、この説明として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 個人が単独で形成している風土から成る世界
- ② 風土に属する人々が互いに関心を寄せ合う世界
- ③ 個々の地域ごとに異なる風土がある世界
- ④ 地球全体で一つの風土を共有している世界
- ⑤ 各地域の人々の合意形成によりつくられる世界

〔問4〕^② ひいては自然をつくとあるが、この説明として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 風土において自然と人間は不可分の関係にあるので、風土に属する人々には持続可能性を考え主体的に自然をつくる責任がある。
- ② 「私たち」を内在化する風土の視点で自然をつくることにより、地球全体のサステイナビリティを考え行動することができる。
- ③ 自然と人間がひとまとまりの関係にある風土を前提に持続可能性を考え行動することは、自然をつくることにもつながる。
- ④ 持続可能性を考え行動することによって、自然と人間が不可分の関係になるので、自然をつくることは人間をつくることになる。
- ⑤ サステイナビリティを考え行動することによりつくられた自然は、徐々に人間と不可分なひとまとまりの関係になっていく。

[問5]

範疇^③とあるが、この言葉の意味と同じかたかな語として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① エピゴーネン
- ② カテゴリー
- ③ デイテール
- ④ テーマ
- ⑤ ニュアンス

[問6]

どこか他人事^④のような感覚が生じるとあるが、この説明として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 巨視的な視点から環境問題に取り組むと、自然と人間が互いに定義し合うことが難しくなるので、「私たち」という意識が希薄になる。
- ② 全人類の開発目標という枠組みでは、「私たち」が全人類に対して小さな存在となるので、「私たち」という感覚が成り立ち難くなる。
- ③ 世界共通の環境問題では、自然と人間がひとまとまりの関係になるので、「私たち」という感覚をもつことは不可能になる。
- ④ 環境問題の議論は活発になされるが、責任の所在が曖昧なので、課題に向き合う段階で、行動主体となる主語は見失われる。
- ⑤ SDGsはその枠組みが大きすぎるため、逆限定の関係を補っても、環境問題に対して当事者意識をもつことはできない。

〔問7〕

この文章の内容に合致するものとして最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 環境 (Environment) の日本語訳に「風土」の意味が存在しない点から、「風土のサステイナビリティ」は日本独特のものであると判断できる。
- ② ある地域に暮らす人たち（＝私たち）を主語として風土が語られるので、個人がそれぞれ単独で風土を形成することができなくなってしまった。
- ③ 環境のサステイナビリティにおいては人間が環境に働きかけるが、風土のサステイナビリティにおいては自然が一方的に「私たち」に働きかける。
- ④ 風土の視点からサステイナビリティを語ると、「私たち」という意識が弱くなってしまふ、あるいは消えてしまふという問題に必ず直面する。
- ⑤ 全地球的な風土という認識に対して著者はリアリティを感じていないが、そうした認識も可能だとする、著者とは異なる議論は存在する。

二 次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

就職活動に悩んでいる大学生の西山諒太は、ふとしたきっかけから「手紙屋」の存在を知り、手紙のやり取りを始める。「手紙屋」からの何通目かの返事には、「今日は、あなたが出会った人すべてをあなたの味方にする魔法の方法を教えようと思います。それは……、」と書いてあった。

私があなただのことをこう言ったらどうでしょうか。

「諒太君は、誰よりも親切で優しいね。君ほど優しい人はいないよ」
きつとあなたは喜びながらも、心の中でこう思うでしょうね。

「それほどでもないよ。冷たい一面だってあるし、自分のことしか考えてないときだってある」ってね。

では、私がこう言ったらどうですか？

「じゃあ、君ほど冷たい人はいない。自分のことばかり考えて他の人のことなんて構いなしだ」

きつと、あなたはこう思うでしょう。

「それほどひどくない。もつとひどいやつだっているし、これでも他の人に気を遣っているんだよ」ってね。

同じように、「暗い」と言われれば、そうでもないと思うし、「明るい」と言われれば「暗いときもある」と思える。「強い」と言われると「弱いところもあるってことをわかってもらえない」と思えるし、「弱い」と言われると「そんなことない！」と反論したくなる。

諒太君だけではありません。私もそう。人間ってみんな、そうなんです。

A 人間には過不足なく、あらゆる性格が備わっているんです。だから性格は変えようとしても変えられるものではない。別の言い方をすると、変えようとしなくても、性格はちゃんとあるんです。

あなたにとつて、ある人がとてもわがままで意地悪な性格のように感じることもあるかもしれませんが、でもそれは、その人が「わがままで意地悪」なのではないのです。いろいろある感情の中で、あなたの前ではあなたが「わがままで意地悪」だと感じる一面しか見せようとしていないだけなのです。

『相手を変えることはできない』

『すべての人にあらゆる性格が備わっている』

このことがわかれば、あと必要なのは、あなたが相手の持っている性格の中で欲しいものを引き出してあげる存在になることなのです。

そして、相手の性格を引き出してあげる方法が、称号を与える⁽³⁾ということなのです。そんな単純なことでも……と思うかもしれませんが、そんな単純なことでああなたは多くの人を味方につけることができるようになるのです。

人は与えられた『称号』どおりの人間になろうとするからです。

世の中の多くの人は他人に称号を与えるのが大好きです。

B、与えられる側にとつて嬉しい称号ではなく、あまり嬉しくない称号ばかりを⁽⁴⁾
与えて生きているのです。

試しに、ちよつと想像してみてください。

あなたは、あなたがいないところで友達からなんと言われていると思いますか？

あまり素晴^{すば}らしい評価は期待できないかもしれませんね。

これはあなたが素晴らしくないということではありません。多くの人は他人を評するときに、あらゆる性格を持つ複雑な人というとらえ方をするのではなく、自分の一番印象に残っている一面を思い浮かべて、あいつは○○なやつという称号を与えたがるからなのです。

C、意見が対立したことがある友人からは

「あいつはわがままでよ！」

なんて言われるわけです。

だからといって、その友人を責めるわけにはいきません。

なぜなら、この世の中でその人の欲しがる称号を、思わずそうなろうと頑張ってしまうような嬉しい称号を、先に与えてくれる人なんてほとんどいないからです。みんなが与える称号は「こうなれ」という希望を込めたものではなく、「こんなまずいところがある」という現状に対するダメ出しばかり。みんな今の自分が完璧だと思って生きていくわけではありません。いろいろ悩みや問題を抱えて、人とぶつかったり、傷つけたり、傷つけられたりしながら成長しています。その過程にいるんです。ということは、自分がしたことを見てきた友人たちが、それだけを参考にして称号を与えたときに、あまりよいものにならないのは当然の結果といえるでしょう。

でもごくまれに、自分がまだ持っていないけれども、与えられると嬉しい称号を与えてくれる人がいます。

世の中で「偉人」と呼ばれる人を育てた母親です。母親でない場合もありますが、とにかくその偉人を育てた人です。

偉人と呼ばれる人々には、ある共通点があります。誰もが素晴らしい才能を持っているたことのように思われがちですが、実はそうではありません。素晴らしい才能とは世の中のすべての人が持っているものです。

では、いったい何でしょうか。

実は、偉人として成功する前から、「将来成功する」という称号を与えられて育ったということなのです。

それは母親、父親、周囲にいた大人、場合によっては自分で選んだ師匠からかもしれません。とにかく周囲の誰がなんと言おうと、「おまえは、将来世の中の多くの人のためになる素晴らしい才能を持っているんだよ」という称号を与えられて育っているんです。そして事実、そうやっていきました。与えられた称号どおりになったわけです。

私は、今の世の中に偉人といわれる人が少ないのは、その称号を与える人が少ないからに他ならないと思っています。

そこで、もしあなたが相手の欲しい称号を与える人になったらどうなるかを考えてみてください。

あなたは、Xになるでしょう。あなたの与えた称号のおかげで、この世の中に偉人がたくさん誕生することになります。

その人たちにとって、あなたとの出会いは人生におけるこの上ない幸せになることでしょう。

(喜多川泰『手紙屋く僕の就職活動を変えた十通の手紙』より)

〔問8〕

同じように、「暗い」と言われれば、そうでもないと思うし、「明るい」と言われれば「暗いときもある」と思えるところがあるが、手紙屋がこのように考える理由として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 手紙のやり取りを通して、諒太があまのじやくな性格であると見抜いたから。
- ② 手紙のやり取りを通して、諒太にはあらゆる性格が備わっていると見抜いたから。
- ③ 人の性格は、時や条件によって次々に変化するものであると思っているから。
- ④ 人は皆過不足なく、ある限りの性格をもっているものであると思っているから。
- ⑤ 人の性格というものは存在せず、見る人の思いの反映にすぎないと思っているから。

〔問9〕

空欄 A、B、C に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものは、次のうちのどれか。

- | | | | |
|---|--------|-------|---------|
| ① | A つまり | B でも | C 例えば |
| ② | A つまり | B しかし | C したがって |
| ③ | A すなわち | B さらに | C したがって |
| ④ | A いわば | B しかし | C 例えば |
| ⑤ | A すなわち | B でも | C 要するに |

〔問10〕

わがままでとあるが、「わがままだ」に近い意味の四字熟語として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 呉越同舟
- ② 温故知新
- ③ 無我夢中
- ④ 他力本願
- ⑤ 我田引水

〔問 11〕

称号を与えると同じ意味で「称」を用いている言葉として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 対称
- ② 称賛
- ③ 称揚
- ④ 敬称
- ⑤ 称量

〔問 12〕

あまり嬉しくない称号ばかりを与えて生きていくのですとあるが、この理由として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 与えられる側にとつてうれしい称号を先に与えてくれる人などほとんど存在しないから。
- ② 悩みを抱えて成長する途上にある他人を見た多くの人は、そのような未熟な点が強く印象に残っているから。
- ③ 人は、自分については「こうなれ」と思うが、相手に対しては「こうなれ」という希望を抱かないから。
- ④ 今の世の中に偉人と言われる人が少ないのは、昔に比べて偉人という称号を与える人が少ないから。
- ⑤ 自分の一番印象に残っている、相手の今までで最も気に入らない一面を思い浮かべる人が多いから。

〔問 13〕

空欄

X

に当てはまる文として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① あなたと出会う人々にとって、人生を共にする存在
- ② 自分に自信をもてない人にとって、都合の良い存在
- ③ あなたの所属する集団内で、リーダー的な存在
- ④ あなたの家族にとって、唯一無二の大切な存在
- ⑤ 世の中の多くの人にとって、かけがえのない存在

三 次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

たとえば友人に「紅玉（注）はおいしいよね」と語ったとき、この「紅玉」ということばは、その基礎的な意味を相手に伝えるだけでなく、相手はその味を知っている場合には、その人のなかに、紅玉独特の強い酸味（注）のきいた甘さがありありとイメージさせることができます。それを言葉の喚起機能と呼んでよいと思いますが、わたしたちは、「紅玉」ということばを聞いたとき、その音声越しに基礎的な意味を聞くだけでなく、A その意味を越えて、このことばがもつ豊かな意味あいをも聞くことができるのです。ここに鍵がありそうです。

B、わたしたちはいくらことばを重ねても、紅玉のビミョウな味をことばで表現し尽くすことはできません。そこに言葉の限界があります。しかし他方、いま言った機能によって、その味を直接相手のなかに喚起することができます。そのような働きがあるからこそ、わたしたちの会話は、ヘイバン（注）な意味のやりとりを終始せず、いきいきとしたものになるのだと言えるのではないのでしょうか。

しかし、そのような機能が發揮されるのは、相手が自分と同じ経験をしている場合だけに過ぎられるのでしょうか。わたしは言葉の喚起機能はもう少し広がりをもったものだと考えています。そういう力はとくに詩歌において發揮されます。そのことを具体的な例を通して見てみましょう。芭蕉（注）に次のような句があります。

よくみれば齊花（注）さく垣ねかな

齊（注）というのは、「せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのぎ……」と言われる春の七草の一つです。ペンペン草という別名をもつ、雑草の代表のような草です。それをづると実がペンペンと音を立てるので、子どもが遊びに使いますが、しかし、その花は実に地味な小さい白い花で、C 注意されることはありません。その花に芭蕉は目を留め、その地味な花がもつ美しさに動かされていることがこの句からわかります。

「よくみれば」というのは、ただ単に「よく観察すれば」という意味ではありません。日常生活の延長上で、より精確に観察された事態がここで詠（注）われているではありません。日常のものを見る目、ものを見る立場というものを超えたところに開かれてくる世界が詠われていると言えらると思います。

ふだん、わたしたちは生活のためにけんめいに働いています。必死で働いているとき、なぜなのような地味な花の美しさが目に入ってくることはありません。生活のためにといい梓（注）が外れたときにはじめて、何の役にも立たない、少しも注意を引かない、ごくごく小さいもののなかにある美が目に入ってきます。そこでは、ものを見る目が変わり、世界の経験のされ方が変わっていると断言してもよいかもしれません。芭蕉はその世界を、

そしてその世界のなかに見いだされる美を詠ったのです。

この句を読んだとき、X、芭蕉が言おうとすることを理解することができます。芭蕉とともに「よくみれば薺花さく垣ねかな」ということばの背後にある「こと」の世界へと、つまり芭蕉が経験している美の世界へと引き入れられていきます。

この句もそうですが、詩歌は特別なことばを用いるわけではありません。詩歌が用いる一つひとつのことばは、わたしたちが日常の会話のなかで使っているのと同じものです。日常の事物を言い表すことばを使いながら、詩歌は、このことばの背後に、日常の世界を超えた世界をくり広げていく力をもっているのです。とくに俳句や短歌はごくわずかのことばしか使いませんが、それを読む人のうちに、かぎりない「こと」を喚び起こし、無限に大きな「こと」の世界を切り開いていきます。詩歌を読む人は、一つひとつのことばを読みながら、それを踏みこえてこの無限の「こと」の世界のなかに参入していくのです。それを可能にするところに詩歌の力が、広く言えば言葉の力があるとさええます。

(藤田正勝『はじめての哲学』より)

(注1) 紅玉——リンゴの一品種。

〔問 14〕 酸味^レとあるが、これと同じ構成の熟語として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 漆黒
- ② 余裕
- ③ 日照
- ④ 納涼
- ⑤ 任免

〔問 15〕 空欄 A、B、C に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものは、次のうちのどれか。

- | | | | | | | |
|---|---|-------|---|------|---|------|
| ① | A | それにより | B | もちろん | C | まったく |
| ② | A | それにより | B | もちろん | C | ほとんど |
| ③ | A | さらに | B | たしかに | C | 決して |
| ④ | A | さらに | B | たしかに | C | ほとんど |
| ⑤ | A | しかも | B | もちろん | C | まったく |

〔問 16〕 ビミョウ^a、ハイバン^b、フ^cの傍線部に該当する漢字を含む熟語の組み合わせとして正しいものは、次のうちのどれか。

- | | | | | |
|---|---|----------------|---|---------------|
| ① | a | 国境の警ビをする。 | b | バン石な態勢を整える。 |
| ② | a | スマートフォンがシン動する。 | b | 模擬店の看バンを掲げる。 |
| ③ | a | 大自然を賛ビする。 | b | バン国博覧会に行く。 |
| ④ | a | ビ力ながら全力を尽くす。 | b | 早バン回復に転じるだろう。 |
| ⑤ | a | 石油をビ蓄する。 | b | 黒バンに円を描く。 |
| | c | 打撃が不シンである。 | | |

〔問 17〕 言葉の限界がありますとあるが、この説明として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 言葉は、同じ経験のない人には文字どおりの意味しか伝えられないということ。
- ② 言葉がもつ豊かな意味合いを表現する方法はこの先もつくり出されることがないということ。
- ③ 味覚で得た情報を言葉だけで十分に伝達し理解してもらうことは難しいということ。
- ④ 多様な捉え方がある情報について、自分の捉え方を万人に言葉で伝えることは無意味だということ。
- ⑤ 物事の細部まで表現するには言葉を重ねる必要があり、多大な時間を要するということ。

〔問 18〕 空欄 X に当てはまる文として最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① わたしたちはけんめいに、必死で働いている生活から解放されるので
- ② わたしたちは芭蕉の使ったことばを踏みこえて
- ③ わたしたちはそれまでなすなの花の美しさに感動した経験がなくても
- ④ わたしたちがなすなのはかない美しさを知っている場合には
- ⑤ 過去に見たなすなの地味な美しさがわたしたちに喚起されるので

〔問 19〕 無限^③にあるが、「無限に」の「に」と用法が同じものとして最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 十月だというのに、真夏の暑さだ。
- ② 暗に決意をほのめかす。
- ③ やつと泳げるようになった。
- ④ 子供が健やかに育つ。
- ⑤ 庭に花を植える。

〔問20〕 この文章の内容に合致するものとして最も適切なものは、次のうちのどれか。

- ① 紅玉独特の酸味のきいた甘さを相手にイメージさせることはできるが、紅玉という言葉がもつ豊かな味を喚起することはできない。
- ② 紅玉を食べたことがある人と、食べたことがない人との間で、そのおいしさについて話す場合、会話は単なる意味のやり取りに終始する。
- ③ 普通の人なら気にも留めない、ごくごく小さいな味の地味な美しさが芭蕉の目に入ったのは、彼が観察力に優れていたからである。
- ④ 詩歌の言葉は基礎的な意味という点では日常の言葉と同じであるが、喚起機能という点では日常の言葉よりも優れている。
- ⑤ 詩歌が用いる言葉は、日常の会話の中で使っているものと同じであるにもかかわらず、日常の世界を超えた世界を表現することができる。

